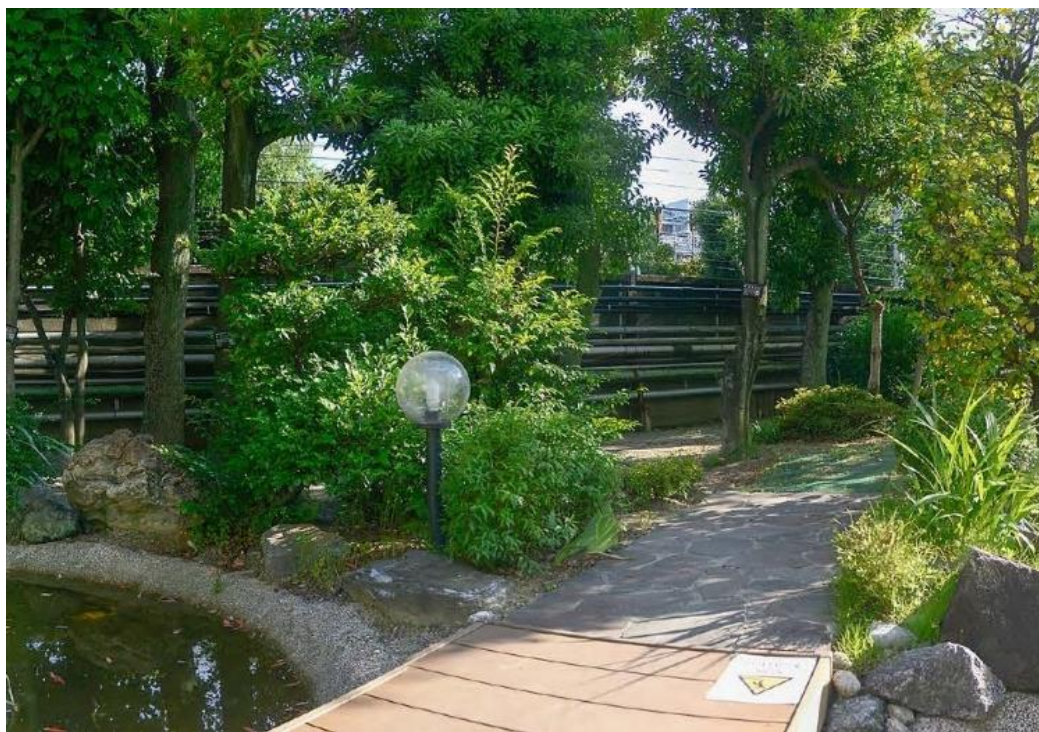


No.	2	名称	グリーンサイクル株式会社 グリーンガーデン
整備時期	2015年2月	所在地	名古屋市港区昭和町13

《概要》

ビオトープとして整備した池の水に雨水を利用しています。池の底には透水性のあるシートを設置し、水はゆっくりと地面にしみ込んでいきます。めだかやトンボなどの生き物が生育しています。

また、工場棟の屋根に降った雨を貯め、トイレの洗浄水をはじめ様々な場所です使用するなど、雨水の活用も行っています。

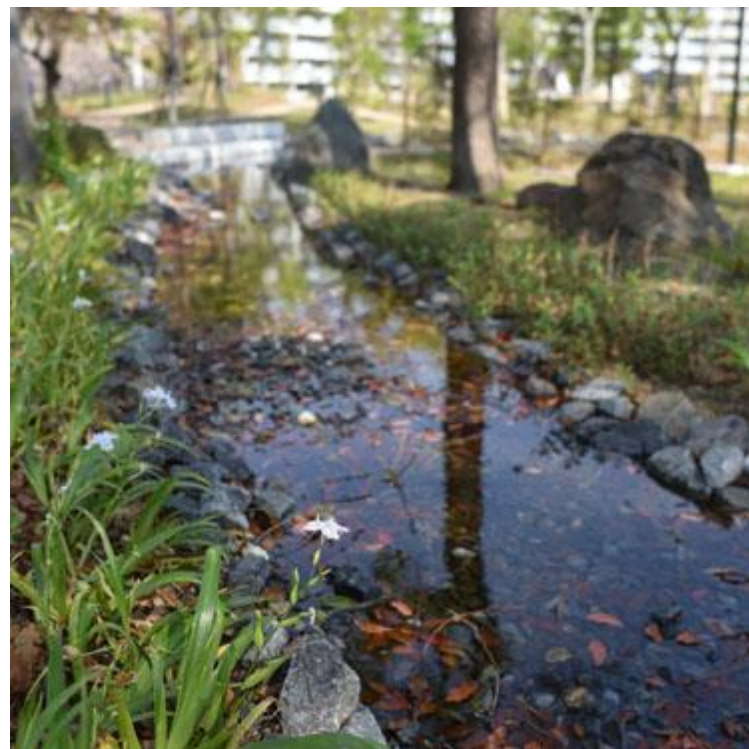


No.	3	名称	愛知県精神医療センター
整備時期	2018年8月	所在地	名古屋市千種区徳川山町4-1-7

《概要》

駐車場、芝生広場に隣接する水路にて雨水を浸透・集水させる水路を整備しています。水路途中にはビオトープ池もあり、めだかや金魚などが生育しています。

ランドスケープデザインを取り入れ、雨水排水そのものを見せることで、雨後の数日間だけ楽しめる自然の水景が見られます。



No.	4	名称	東海国立大学機構 Common Nexus（ComoNe）
整備時期	2025年3月	所在地	名古屋市千種区不老町

《概要》

緩やかな湾曲状の屋根を緑化（写真①）し、降った雨を集水桝にあつめ、その水がクスノキ並木沿いに設置された浸透管（穴が開いた管）を通り、土中に浸透することにより並木や植栽にうるおいを与えます（写真②）。

図書館前広場には雨水貯留浸透施設を設置し、降った雨を一時的に貯め、また土中に浸透もさせています。



写真①



写真②

舗装の下に、
浸透管を設置して
います。

名古屋大学WEBマガジン「広報名大」でも紹介しています。